

富山地区学校再編検討委員会第2回会議 会議録

日時 令和6年2月22日（金）

午後7時00分から午後8時07分まで

会場 富山岩井コミュニティセンター 多目的ホール

【当日関係者】

検討委員（富山地区）	17人
オブザーバー（富山地区）	1人（1人欠席）
傍聴人	2人
報道	0人
事務局	13人

1 開会

進行 皆さんこんばんは。

本日は大変お忙しい中御出席をいただき、また昨年12月の保護者説明会、今年1月の地区説明会にも御出席をいただき、誠に有難うございます。重ねて御礼申し上げます。

定刻となりましたので、始めさせていただきます。本日の会議の進行を務めます、教育委員会事務局学校再編整備課長の黒川と申します。よろしくお願いいたします。

進行 会議に入る前に、お手元に配付してございます資料の確認をお願いいたします。

まず、「会議次第」。

次に、本日の「席次表」。

次に、資料1「富山地区学校再編に関わる保護者説明会・地区説明会の意見等について」で、A4で両面印刷のホチキス留めしてあるもの。

次に、資料2「意見対応」で、A4片面印刷が1枚のもの。

次に、資料3「富山地区への回覧（案）」で、A4片面印刷が1枚のもの。

次に、資料4「南房総市立中学校生徒数 推移見込み」で、A3の片面印刷が1枚のもの。

次に、資料5「富山地区の中学校再編（案）」で、A4片面印刷が1枚のもの。

次に、資料6「今後の日程等について」で、A4片面印刷が1枚のもの。

最後に、「富山地区学校再編検討委員会第1回会議 会議録」で、A4両面印刷でホチキス留めとなっているもの。

配付資料は以上の9種類となります。御確認いただきまして、不足等があれば手を挙げていただけますでしょうか。よろしいですか。

進行 また、御発言をされる際はマスクを外していただくようお願いを申し上げます。

それではただいまから、富山地区学校再編検討委員会第2回会議を開会いたします。会議は次第に沿って進めさせていただきます。

2 委員長挨拶

進行 次第の2、委員長挨拶。戸倉委員長お願いいたします。

委員長 こんにちは。

足元の悪い中、また、お仕事でお疲れの中、御出席いただきまして有難うございます。

先程、事務局の方からありました通り、保護者説明会・地区説明会に御参加いただきまして有難うございます。その中で、立場が違えば、いろんな御意見、貴重な御意見もいただきました。

そこで、この意見に伴ったものを、いろいろ御検討いただきまして、忌憚のない意見を出していただきまして、私どものこの委員会の方向性を少しでも固めていけたらなと思っておりますので、是非御協力いただきまして、簡単ですが御挨拶に代えさせていただきます。よろしくどうぞ。お世話になります。

3 教育長挨拶

進行 有難うございました。

続きまして、次第の3、教育長挨拶に移ります。三幣教育長から挨拶申し上げます。

教育長 こんにちは。御出席いただいて有難うございます。

12月の保護者説明会、1月の地区説明会に御出席いただきまして、大変有難うございます。重ねて御礼申し上げます。

今日は、今、委員長さんからもありましたが、その2回の説明会を受けまして、富山中学校と富浦中学校の再編について、どうしていくかってことの方角性を見出していただければ大変有り難いと思っておりますので、本日もよろしく御検討・御協議お願い申し上げます。

4 報告等

進行 それでは次第の4、報告等に移ります。

保護者説明会・地区説明会の概要について、事務局から報告いたします。

事務局 それでは、次第の4報告等の(1)「保護者説明会・地区説明会の概要について」を説明いたします。

資料1の「富山地区学校再編に関わる保護者説明会・地区説明会の意見等について」を御覧ください。これは、説明会に御参加いただいた皆様から頂戴した御意見・御質問について、事務局で要約をして記載をさせていただいたものとなります。

始めに、保護者説明会ですが、令和5年12月21日に富山中学校体育館を会場に開催し、このときに参加した保護者は56名でした。保護者の皆様からは、再編に対して特に反対の意見は無かったと認識しており、今後のスケジュールや統合中学校の位置、統合のあり方などに対する質問が主なもので、事務局からは、詳細は富山地区学校再編検討委員会で今後、協議・検討していきますと回答しております。

次に、地区説明会ですが、令和6年1月25日に、同じく富山中学校体育館を会場に開催し、このときに参加した地域の方々は12名でした。地域の方の中で、反対という方もいらっしゃいましたが、国の方針で進めるのではなく、誰のための統合なのか慎重に検討していただきたいとの意見であり、事務局から、これまでも国の方針で再編を進めているのではなく、子どもの将来を考え、どのような学校生活をおくるのが子どものために大切なのか、保護者や地域の方々と慎重に協議・検討いただきながら進めてきており、これからも同じ方針で協議をお願いしていきたいと回答いたしました。

市としては、いただいた様々な御意見を踏まえ、富山地区学校再編検討委員会の皆様と丁寧に協議・検討を重ねて参りたいと考えております。

以上で報告を終わります。

進行 報告が終わりました。御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。なお議事録を作成いたしますので、挙手の上、お名前を述べていただいて御発言いただきますようお願い申し上げます。

何かございますでしょうか。

《しばらくの間》

進行 よろしいですか。

特にないようでございますので、次第の5、議事に移りたいと思います。その前に御報告がございます。

本日の出席者は17名中17名であり、過半数に達しておりますので、設置要綱第7条第2項により会議は成立いたします。次に本検討委員会は設置要綱第7条第4項により公開となっておりますので、傍聴の申し出がありましたら会議の傍聴席に入っております。

以上で報告は終わります。

5 議事

進行 それでは、次第の5、議事に移ります。設置要綱第7条第1項の規定により、委員長に議長をお願いいたします。

議長 それでは議長を務めさせていただきます。すいません、椅子を利用させていただきます。お願いします。

会議は、設置要綱第7条第4項の規定により、公開とすることになっておりますので、傍聴の申し出がありましたら、これを、許可をいたします。

傍聴の申し出がありますでしょうか。

進行 あります。

議長 それでは、入場していただきます。どうぞ。

《傍聴人入場》

議長 よろしいでしょうか。傍聴者の方は2名ですか。

傍聴者の方に申し上げます。発言権はございませんので、御了承願いたいと思います。

それでは議事に入ります。議事の（１）「意見対応」についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、次第の５、議事の（１）「意見対応について」を説明いたします。資料２を御覧ください。

先程、御報告させていただきましたとおり、保護者説明会・地区説明会を開催し、皆様にも御参加をいただきました。その中で検討課題となっていたものについて、御協議いただきたいと思います。

１点目、「説明会に参加されなかった保護者や地域の方々への周知方法について」です。資料３を御覧ください。事務局としましては、説明会に参加されなかった方々にも資料を確認していただき、検討委員会が協議・検討を開始したことや、いただいた御意見・御質問を知っていただくため、富山地区全戸に回覧を行いたいと考えております。参考として作成した資料３のとおり回覧することとしてよろしいか、御協議をお願いいたします。

資料２にお戻りください。２点目、「富浦中学校・富山中学校の生徒全員を対象にしたアンケートについて」ですが、これまで行ってきた学校再編にあたっては、各家庭で保護者と子ども達で話し合いが行われているものと認識しております。子ども達の考えや希望を十分に反映した形で、大人の責任をもって様々な事柄を判断いただいていると思っております。また、学校再編は、再編の時期、再編後の学校の位置、名称を市議会にて条例として議決いただく、政治的、社会的、教育的な判断を要するものです。これらについて、子ども達に判断をさせることは、大変な負担であると考えます。そのため、これまでと同様に、アンケートの実施は行わず、各家庭内で話し合いをしていただくことで、子ども達の意見を反映していくことが適切な方法であると考えております。

3点目、「説明会質疑の回答方針について」ですが、こちらは説明会後に事務局に電話にて問合せがあったものになります。説明会での質疑について、会議資料としての周知のみではなく、個別に回答いただきたいというものでした。事務局としましては、いただいた御意見・御質問は全てが貴重なものと考えており、御意見・御質問から、回答・検討結果までを含めて市のホームページに掲載し、今後の学校再編を検討する参考としていただきたいため、広く市民の皆様にも周知したいと考えております。希望者には個別対応をするのではなく、市のホームページを御確認いただくことで質疑の回答としたいと考えていますが、検討委員会の方針を決めていただきたいと思います。

4点目、「三芳地区の学校再編について」です。資料4及び資料5を御用意ください。資料4ですが、富浦地区の地区説明会の中で、三芳地区の令和17年度までの推移を確認したいとの御意見がありましたので、御用意をさせていただいたものになります。

令和11年度までは、現在の小学校1年生が中学校1年生になるまでの推移であり、大差ない予測値になろうかと思っておりますが、令和12年度からは、未就学児の人数を参考としており、多少の変動があろうと思っております。

2月14日に富浦地区学校再編検討委員会が開催され、その際、「三芳地区を含む再編も検討すべきでは」との御意見をいただきました。そのため、富浦地区学校再編検討委員会としては、学校再編に対する結論は決めず、継続審議となっております。事務局としては、現状想定できる推移をお示ししましたが、三芳地区は最近の地区別人口数・世帯数を見ると、他地区に比べ減少傾向は緩やかであり、小中学校近郊の住宅建設も増えていることなどから、児童・生徒数は現状維持となることが予測されます。事務局案としましては、このまま三芳地区は含めず、資料5のとおり、富山中学校と富浦中学校の学校再編を検討いただきたいと考えております。

なお、三芳地区につきましては、小中学校のPTAの皆様にも事務局から現状を説明したいと思っております。

以上で説明を終わります。協議・検討をお願いいたします。

議長 有難うございました。

ただいま事務局の方から説明がございました。検討課題として説明のあった4点について、協議していきたいと思います。一つずつ、1点目2点目を分けて協議し

たいと思いますので、お願いいたします。

まず1点目、説明会に参加されなかった保護者や地域の方々の周知方法について、事務局から全戸回覧と提案がありましたが、意見・質疑等があれば御発言を願います。

どなたか、御質問ある方、挙手願います。

《しばらくの間》

議長 いかがでしょうか。

《しばらくの間》

議長 意見等がなければ事務局の、はい、どうぞ。

委員 質疑応答の詳細は下記ホームページに掲載しております、というふうにあるんですが、わざわざホームページを開いて見てくださる方っていうのがどのくらいいるのか、というふうに思っていて、特に高齢の方などは、そういう傾向が、分かりません、あるかなっていうふうに私は思うんですが、今日配布された資料、こういう会議録とかを、この回覧と一緒に付けることはできないものかと思ったんですが、どうでしょうか。

議長 教育長、どうでしょうか。

教育長 会議録も付けることは可能ですので、資料3で考えていたわけですけど、会議録もということで皆さんの意見が一致すれば、そのようにやっていきたいと思いません。やってきたいというよりも、やってくことは可能です。

議長 皆さんいかがでしょうか、今の御意見の通りにした方が良いのか、あるいはホームページでやった方が良いのかという、他に御意見がございますでしょうか。

《しばらくの間》

議長 今、御発言がございました、回覧で回したらどうだということと、ホームページでという意見、事務局案と委員さんの意見ございますけど、どちらを選択したらよろしいでしょうか。はい、どうぞ。

委員 どちらも同時に進行で良いと思います。ホームページは多分、若い方は文章見ない方もいらっしゃると思うので、資料3は3のまま、ホームページもありますよっていうお知らせもつけておいて、そこに、見ない方用の資料もつけた方が、両方あった方が良いんじゃないかなと私は思います。

議長 お願いします。

教育長 あと、会議録そのものを載せる方法もありますけど、かなり量が多くなります。私ども、他のものでもやっておりますけど、Q&Aのような形で、問いと答えに対して配布した、そういう例もあります。

多分、会議録そのまま載せると量が多いので、かえって今度は読んでもらえないっていうのもありますんで、Q&Aのような形で整理するというのも一つの方法かなと思いますけど、これもまた御協議願いたいと思います。

議長 いかがでしょうか。他に御意見のある方。はい、どうぞ。

委員 この1だと、保護者や地域の方々への周知というところで、回覧板だけになっているんですけども、多分学校の保護者の中で、地区の班に入っていない方って結構いらっしゃると思うんです。回覧板だけでは、地域の方々には回覧板で周知はできるとは思うんですけども、保護者会に参加していない保護者で、地区の班に入っていないければ、何も周知ができないので、保護者宛には学校から全家庭に配布してもらった方が、全校の保護者の方には周知されるのではないかなと思います。

教育長 はい、それはできることですので、そういうふうに結論が出れば、そのように対応します。

先程のQ&Aの話ですけど、ホームページの方には会議録は全て載せます。紙と

して回覧等する場合については、量が多くならないようにした方が良いのかなって
いう気もしますが、考えですので、Q&Aのことような形でまとめて、今の資料3
と合わせて、回覧するっていうことでいかがかなと思いますけど。

議長 どうでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、回覧あるいは学校を通じて、
保護者の皆さんには大まかなところを配るということで御理解いただきます。
よろしいですか。

教育長 もう一回、私どもこれからやっていくことを確認させていただきますけど、保護
者には資料3とQ&Aの形のを全家庭に配布するという。それとあと、回
覧についても同じように、同じような形で回覧させていただく。会議録については
ホームページに掲載する、ということよろしいでしょうか。

議長 はい、よろしいでしょうか。他に第1点目について、御質問等ございますでしょ
うか。

《しばらくの間》

議長 無ければ、今御発言のあった通りにしていきたいと思います。

それでは、2点目に移りたいと思います。

富浦中学校、富山中学校の生徒全員を対象にしたアンケートについてということ
で、事務局から提案がございました。実施しないとのことでしたが、意見・質疑等
があれば御発言願います。どなたか。

《しばらくの間》

議長 御意見がないようでしたら、アンケートを実施については、事務局の提案通り実
施しないということにしてよろしいでございましょうか。

はい、どうぞ。

委員 アンケートは、どういうアンケートなのかが決まってないのに、そうやって進ん

じゃって良いのかなって思います。

以前、私お話ししましたが、富山中の2期生で、そういう状況に放り込まれて、良い面も悪い面も経験した経験上、ひょっとしたら保護者にそういう話に来ていたのかどうかというの、今となっては50何年前ですから、よくわからないんですが、少なくとも生徒たちにどうだっていう、良い面だとか、悪い面だとか、楽しみな面だとか心配な面だとか、部活がどう変わるとか、そういうようなのを聞かれた記憶はないんですね。だから、議員だとか我々大人が全て考えるようなアンケートではなくて、子ども目線から、ある程度子どもたちの考えっていうか、それを吸い取るっていうんですかね、把握するっていう、そのくらいの調査ぐらいはあってもいいんじゃないかなって私は個人的には思います。

このまま何もなしで、大人の仕組みだけで、こういうすごい難しいような理由挙げていらっしゃいますけど、それはそれ、大人の世界はそうなんでしょうけど、子どもたちってというのは違うのかな、っていうような気がします。

すいません、それでもやるっていうのであれば、私はもう従うしかないんですけど。以上です。

教育長 この学校再編については、子どもたちの教育環境をより良くしていくってことですので、これは例えば中学生にアンケートをとった場合には、1年生は1年間の中学校生活なわけですね。長くても3年間、それをもとに判断していかざるを得ないと思うんですけど、そういったことを考えると設問自体も非常に難しさがあります。やはり私も大人の方で、子どもたちにとって先々を見たとき、あるいは現状を見たときに、地区の子どもたちにとって最適な教育環境はどのようなものかということ議論して決めていくということで、私どもの方はそれでよろしいというふうには考えております。

ただ先程、説明にもありましたように、保護者の方々にはお願いになりますけど、学校のあり方については、子どもたちと話し合っていて、現状変えるところとか、そういったものについては、こういうところで御意見いただければ大変有り難いと思っております。

議長 いかがでしょうか。はい、どうぞ。

委員 すいません。今、委員さんのお話ってすごい私も同感します。ここに、子どもたちに判断をさせることは大変な負担っていう言葉が書いてあるんですけども、私が子どものときよりも今の子どもたちの方が、自分の意見を結構責任持って発することというか、私が小学生のときよりも、私の子どもの、今の5年生だったりとか中学1年生だったりの子どもの方が、自分の意見をはっきり言えるような子どもが数多く見られるような気がします。

子ども向けにやるのではなくて、私達ここで、学校代表PTAで8人しかいない中で、全家庭の代表としているんですけども、全家庭の代弁というのはなかなか難しいので、例えば、御家庭でこういった話し合いをして欲しいということで、保護者宛にアンケートをとって、その議題に沿って御家庭で話をして、それを集約するっていうのも一つの策というか、そこで子どもが不安に抱えていることだったりとか、統合して良いところと悪いところっていうのは、私達が代表で話すよりも各家庭で話し合いをして、それを吸い取った方が素直な気持ちというか、そういったものが私達にも響いてくるのではないかなと思います。

教育長 PTAの役員の方々に保護者代表ということで、委員でおいでいただいています。

過去にですね、教育委員会としてはアンケートはやっておりません。ただ、単位PTAの方で、方向性を決めるのに、それぞれの保護者、そこには子どもの意見も反映されてたんじゃないかなと思いますけど、それぞれの会員保護者宛にアンケートを実施して、それを踏まえて、単位PTAとしての方向性を決めてきた例はあります。

ですから、富山小学校・中学校の方で、自分たちのこの8人の意見ではなかなか出し切れないっていうような想いがあるとするれば、それぞれのPTAの方で必要な内容ですね、それを決めていただいて、御意見をいただいて、それでこの場にまた臨んでいただくっていうのは、今までにもありましたんで、そのような方法がよろしいのではないかなというふうには考えております。

議長 どうでしょうか。

委員 はい。過去にそういった前例があることを知らなかったので、はい、有難うございます。参考にします。

議長 はい、どうぞ。

教育長 あとは、再編検討委員会の主催ということで、この前保護者の説明会を12月ですか、実施しました。それで単位PTAによっては、PTAの主催で、保護者会を実施したところもあります。アンケートを取ったところもありますし、皆さん方の会員のそれぞれの意見を集約しようということで、それぞれの単位PでPTAの方で保護者会を開いて、そこで疑問だとか、あるいは方向性だとか、そういったものを話し合っ、この場に出てきていただいたということもあります。

議長 よろしいですか。他に何かございますでしょうか。

《しばらくの間》

議長 PTAの皆さん大変ですが、一つ、子どもの意見を聞いていただいて、また会議の方に提案していただきたいと思います。

それでは、他にございますでしょうか。2点目の件について。

委員 私もこのまま、子どもにこういうことを、ちゃんと子どもと話し合わずに合併っということになるのは、ちょっと嫌だなと思うので、さっき教育長がおっしゃられたように、PTA中心としたアンケート作りとか、話し合っというものができれば良いなというふうには思いました。

来月また私達、会議があるので、そのときにでも話し合ったいなっというふうに思います。

議長 有難うございました。検討していきたいと思います。それではとりあえず委員会としては、アンケートは実施をしないということで、説明会、希望は取るということで、一つ御理解をいただきたいと思います。

議長 それでは、続きまして3点目に移りたいと思います。

説明会の質疑の回答方法について、事務局の提案は、個別対応ではなく、ホームページで周知するという形にしたいとのことでしたが、意見質疑等があれば御発言

願います。 意見ございますでしょうか。3点目です。

《しばらくの間》

議長 はい、これについては意見の無いようでございますので、回答方法については、ホームページあるいは先程、第一点目にごさいましたようなことで対応していきたいと思います。

議長 それでは、最後の4点目に移ります。

三芳地区の学校再編について、事務局からは三芳地区を含めず、富山中学校と富浦中学校の学校再編を検討していただきたいというような提案でしたが、意見質疑等あれば御発言を願います。はい、どうぞ。

委員 三芳地区の学校再編について、4番目に関連して、意見というか質問になろうかと思うんですけども、ネットのホームページで学校再編会議の富浦地区の拝見しておりまして、ここに記載してる意見、三芳地区を含む再編を検討すべきではと、諸々もつといろいろ肉付けがあつて、通学路の問題とかが難儀されておつたんですけども。

これ、教育委員会様にちょっと確認なんですけども、ホームページをみますと、保護者と住民の心境をおもんばかると垣間見えてくるのがですね、富山との再編ではなくて、多分今後の再編会議、またそれ以降の合同会議に発展した場合に、富浦中学と三芳中学との再編ということで、富山を外して、富浦地区としては三芳との再編をとということが出てきた場合に、今ここで記載されてましたのには、富山中学校と富浦中学校の再編を検討していくと、あくまでもそういう意見があつても検討していくということであるんですけども、仮に富浦の方の皆さんの雰囲気、私ちょっと今ここに地図を見てるんですけど、どう考えてもこれから会議を重ねるにつれて、富浦の保護者住民がですね、いやこれやはり三芳の方へ、まず再編するなら三芳中学校の方が良いっていう声が上がったり、また要望書が教育委員会に出た場合に、教育委員会としては、それをどう対応するか、検討するか、方向性はどうか考えるんでしょうか。富山を置いて、富浦と三芳で再編したいと、富浦の住民が、保護者が、強く要望した場合にですね。あくまでもそれはもう置いて、行く行

く先々まで富山と富浦で再編していくというお考えなんでしょうか。その点お聞きしたいと思うんですが。

教育長 まず前提としてですね、今の富浦地区の会議の中で、富山地区との再編をしないで三芳と一緒にする、というような雰囲気っていうんですかね、意見はもちろんですけど、雰囲気としてもそういうものはないというふうに私どもは判断しております。この前出てきたのも、三芳が置き去りにされているというような三芳地区の声もあったので、三芳地区にも説明して欲しいというような、そういうような雰囲気です、私ども受けとめております。

冒頭お話がありましたように、三芳地区のPTAの方々には、現在の私どもの考えを説明していくつもりであります。

あと、今お話あった後の方ですね。富浦地区が富山とは一緒にしないで、三芳地区と一緒にしていくんだというような結論が出ましたら、これは尊重しなくちゃいけない、そういう立場だと私どもは考えております。そうなりますと富山地区と再編っていうのは白紙に戻すのかとか、そういったものについてはまた皆さん方に集まっていただいて、確認していただくっていうような運びになるかと思っております。

委員 有難うございました。ちょっと確認の意味でお話させていただきました。

議長 大変な議論になりますね。ここにもありましたけども、はい、どうぞ。

委員 今、三芳の件が出ましたけども、私、結論から言えばこの原案に賛成です。三芳の生徒数の推移が、今後減少はまだ見られないということ。それと、もう一つは、その先のことまで今ここで云々っていうのはないんですけども、三芳の地区考えると、やはり富山・富浦地区と、それと嶺南ということも十分考えられるのかなということがありますので、今は、僕はこの事務局の提案が一番良いものだと考えています。以上です。

議長 有難うございました。どうぞ。

教育長 この資料4の補足的な説明を申し上げますと、これは0歳児が17年度までに移行推移していくってことで、出生数を基にしております。三芳地区の特徴としては、出生した段階よりもその後、増えてくるということですね。増えるとは2倍3倍とかそういう増え方じゃなくて、出生数プラス、移住してくる方がいて、三芳は実際の数はいくら増えることがありうるっていうふうに想定をしております。

ですから、今の段階で三芳地区が17年、18年度以降、どういう推移になってくるかというのは、現在の段階では私どもも確実に把握できない状況で、あとはやはり5年、10年先を見て、三芳地区の人数がどうなっていくかということは判断しなくちゃいけないと思っております。

それともう1点ですね、令和17年度というのはどういう年度かって言いますと、南房総市ができて30年になる年です。そうしますと、今、委員の方からも話がありましたけど、現在でもですね、三芳地区の子どもで嶺南中学校に通っている子どもたちが何人かいます。自転車で毎日通っております。南房総市ができて30年ってことになってくると、旧町村という枠組みがですね、市が誕生したときに、南房総市民として生まれた子たちが30歳になるわけですし、旧町村に対するイメージっていうんですか、想いですか、そういったものもかなり今とは違ってくるんじゃないかなっていう。そうしますと、市全体として生徒が減ってきたときに想定されるわけですけど、その時点で旧町村というものをそれほど意識しなくちゃいけないのか、あるいはもう意識しなくても良くなっている状況になってるかも知れないという、その辺はやはり令和18年度以降は、子どもたちの、児童生徒数の推移と合わせて、そういうような意識の変化ですね、そういったものも見極めて、学校再編については考えていかななくちゃいけないと思っております。

ですから私どもとすると、当面は提案した通り、富山中と富浦中。ただし、委員さんがおっしゃったように、富浦の方で私どもの提案したものと違った結論が出れば、それはまた尊重しなくちゃいけないっていう、そういう立場だと思っております。

議長 よろしいでしょうか。いずれにしても、三芳の件、他の件も大変なことなんですけども、とりあえず我が富山としては、三芳地区のことは、何年か過ぎてまたこういう話になるかも知れませんが、とりあえず今の段階では、まだ三芳地区のことはちょっと置いておいて、富浦の統合ということで進めていきたいということですけども、それでよろしいでしょうか。

いずれ、今おっしゃった通り、5年後10年後にはまたいろんな問題が出てくると思いますけども、今の段階では三芳にしてみますと、嶺南の方が近いとか、いろんなことがございますんで、とりあえず今ここの富山地区の再編委員会としては、富山中学校と富浦中学校の両校を統合させるという方向性でいく、ということによってよろしゅうございますでしょうか。

《しばらくの間》

議長 それでは、特にならなければ、こういう方向性を持って進んでいきたいと思っておりますので、また御協力のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

議長 次にですね、議事の(2)、今後の日程について、日程等についてを議題といたします。事務局の方から説明をお願いします。

事務局 それでは、議事の(2)「今後の日程等について」を説明いたします。

資料6を御覧ください。これは事務局が参考として作成したものであり、必ずしもこの日程で行っていただきたいというものではありません。

令和6年4月になりましたら、事務局から各所属へ検討委員の推薦依頼を行います。4月下旬には各団体の総会が開催され、検討委員の選出が可能と考えるためです。引き続き検討委員をお受けいただく方もいらっしゃると思いますが、改めて御報告をお願いいたします。

その後、教育委員会で検討委員への委嘱の手続きを行います。手続きが完了次第、正副委員長と相談をして、令和6年度の1回目の会議日程を決定したいと思ひますが、5月下旬から6月上旬になるのではないかと思ひております。委員の皆様や関係者の皆様には後日、手紙にて御案内をさせていただきますと思ひます。以上です。

教育長 補足させていただきますと、富山学園の方でアンケートなりあるいは保護者の話し合いとか、そういったものをこれから考えていくとすれば、それらを踏まえて会議の日程は決めていきたいと思ひますので、それは私どもと連絡を取って決めていくということを、皆さん方に御承知おきいただければと思ひます。

議長 ただいま、事務局あるいは教育長の方から説明がございました。意見質疑等があれば御発言願います。

委員 2点お願いします。

1点目、今後の検討委員会、今、検討委員会17名いらっしゃるということですが、来年度は17名のうち何名替わるのでしょうか。

議長 各…例えば行政委員さんたちとか、PTAの役員さんだとかということ。

委員 全部変わるんですか。

議長 いや、どうなんでしょうか。

委員 こっちは4人替わるわけだよね、行政委員ね。全体で8人替わるわけですね。半分以上、半分弱か。わかりました。

その辺、繋がりがね、今年から来年度にかけての繋がりがうまく、会議の流れがね、持てるかどうかというのがちょっと一つ心配なことと、それから、富浦と富山のこの検討委員会、または保護者説明会、地区説明会で、温度差はないんでしょうか。というのは、富山の方は回覧の、資料3の回覧文書を見ると、再編に対しては肯定的であるというふうに書かれています。これを回覧した場合に、富山地区の保護者地区は、富山は賛成なんだなって思い込んでいます。じゃあ、富浦どうなのと。我々検討委員会は富山のことはわかりますが、富浦の検討委員会の様子はわかりません。ホームページ見ればどんな話をしたかというのが分かるかも知れませんが、その辺温度差がないのかな。だから今後、こういう検討委員会をやっていく中で、富浦の情報も随時入れていって欲しいんじゃないのかなというふうに、私達はもう卒業しちゃうんでね、何とも言えないんですが、今後の検討委員会に期待するところです。

以上です。

教育長 まず1点目の引き継ぎの件ですけど、私ども、いろいろ工夫はして参りますけ

ど、それぞれあて職っていう言い方失礼ですけど、区長さん方は区長さん方で、それで引き継いでいただいて、なおかつ私どもも、資料とかそういったものを用意して引き継げるようにしていきたいと思います。

P T Aの方も同様ですので、引き継ぎの方はよろしく願いいたしますが、この再編会議を各地区において、毎年度毎年度メンバーが若干変わってきてますんで、是非私どもも頑張りますけど、皆さん方にもまたちょっとやっていただければと思います。

2つ目ですけど、富浦地区と富山地区の会議の温度差ってことですけど、正直申し上げますと、こちらの方が意見がいっぱい出ます。時間も結構違いがあります。特に何が違うかっていうと保護者の意見が、富山地区が多いです。富浦地区はほとんど出ませんので、区長さん方の方からの意見が出るってことで、印象というか、温度差ってことですので。特段の反対は出ておりません。そういったところが、なんて言うんですかね、今申し上げられることかなって。それで両地区、富浦のことが分かるように、っていうことは、私どもそれは次回から、何らかの工夫はしていきたいと思っております。会議録読んでくださいってことでなくて、主なところとか、あるいはQ&Aとかそういうのもありますんで、そういったものは皆さん方に提供するというような形で考えていきたいと思っております。

議長 有難うございます。よろしいでしょうか。事務局が用意しましたこの日程表、また、いろいろP T Aさんの方で子どもたちの意見を聞いたり何だかんだというものがありますんで、これを基本にして、流れを見ながら決めていきたいと思います。

そしてまた、今御発言ありました通り、また、役員を交代される方は、できればこの流れを少しでも次の方に、やれる範囲で構いませんけど、一つ引き継ぎの方をよろしく願いしたいと思います。

それでは議事の方は、よろしいでしょうか。先程、事務局の提案した通り、すいません、はいどうぞ。

委員 区長会ですが、引き継ぎをお願いしたいというようなお話でしたが、現実的にはちょっと無理だと思います。ここに座るメンバーが新しい体制になって、それで互選で決まるわけですから、それからじゃないといけないという。また、それぞれ1対1でってことになっても、引き継ぎの内容は多分、まちまちでしょうから、それ

は現実的には無理な話だと思います。

ですから、これまでの会議の状況というか、それを新しい年度の第1回目の会議の席で振り返るような形で、それで少しでも頭合わせができるように、そのようにお願いしたいと思いますが、いかがですか。

教育長 今、委員さんからお話がありましたけど、まず、新しい区長さんが決まった段階の全員の方の前で、今までの経過を説明するとか、そういったことが必要だとすれば、それは一つ対応したいと思ってます。

それとあと、4名の方が代表で選ばれてくることになるかと思いますが、4名の方にも資料を当然お渡しして、今までの会議の経緯とか、そういったものについては、私どもの方で説明していきたいと思えます。

是非それと、皆さん方の方からお口添えもいただければ大変有り難いと思ってます。

委員 多分こうやって引き続いて、このようにやってるんだなっていうことはわかりますんで、参加する機会はあるかも知れませんが、承知しておきます。よろしくお願いします。

議長 有難うございました。

区長さんの任命とか何とかってのは、何月頃、最初4月の頭ですか。

委員 4月に区長会、4月後半、第3週の金曜日。

議長 4月の後半ですか。

委員 で、区長会が動いて。

議長 区長だとか何か決まるわけですよ。有難うございました。
ということで、PTAさんの方はいつ総会かな。

委員 人は決まってるんですけど、4月の末にPTA総会というのがありまして、そこ

で正式に交代。

議長　じゃあ、4月の終わりになれば大体皆さんが揃うわけですね。有難うございました。

それではですね、そういうものも踏まえて、次回の日程をまた協議して、事務局と打ち合わせして決めていきたいと思いますので、よろしくどうぞ、お世話になりますようお願いしたいと思います。

それでは、他に何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

委員　終わり際ですいません。

任期の引き継ぎだったり、そういう話も出てますけど、この会議、この委員会が発足して、僕らが出席した会議の中で、これで今日で5回目になるのかな。PTAに関しては2年1期っていう形なので、1年のアドバンテージが残ってる人たちもいるので、そういう部分では引き継ぎっていう部分に関してはそんなに大きく問題はないと思うんですが、実際ですね、アンケートの話とかって、結局ちょっと前に戻ってしまう部分もあるんですけど、今の中学生を対象にアンケートを取るのか、これから中学生を迎える、例えば小学校4・5・6年生にアンケートを取るのか、多分、今の中学生にアンケートを取っても、実際統合したときって、今のアンケートを取った子たちって、恐らく統合を迎えないと思うんですよ。なので、正直、自分たちにはあんまり関係ない部分でのアンケートになってしまいがちな部分も出てきてしまうのかな。という部分と、正直うちが長男に関しては6年生なので、話をちょろっとしたことがあったときに、いやどうせ俺卒業した後でしょ、みたいな感覚を持ってる子たちもやっぱりいるので、この会議になって5回目、本題というか、本題らしい本題に進むというか、要はどれぐらいを目安に教育委員会的には思っているのか、結局ずっとこういう話し合いが1ヶ月毎、2ヶ月毎、例えば3ヶ月毎とかに行われていたとして、1年あつという間に終わっちゃうと思うんですよ。さあいよいよじゃあ、富山地区は固まりました。富浦地区と合同で会議になります、となつて、またそれでどれぐらいの月日を要するかというのは、多分、果てしなく分からないので、何か目安って言ったらちょっとおかしいんですけど、どれぐらいの時期を目安に本題的な話に入りたいのかなつて、私は疑問に思ってしまったので、はい。

教育長 あ、何年という見通しは持ってません。

皆さん方が意見出し合っていて、結論が出れば早くなりますけど、過去の例ですと、会議を30回、40回で、3年4年やってきた地区もあります。これはいろんな難しい問題もあった状況なんですけど、これは私どもも決して急ぐことはしませんし、ただ、子どもたちの現状を見ると、やっぱりそんなに先延ばしはできない状況であるというのがそもそものスタートですので、やはり私どもは私どもの説明を尽くして、皆さん方の意見がまとまる方向では、一緒にやっていきたいと思っています。

大変申し訳ないんですけど、早く決まったところは早く決まりましたし、年数もかかったところは年数がかかってます。

いずれにしても皆さん方の想いを出して、忌憚なく出していただくのが、結論の出る条件になってくると思います。

それとあと、アンケートをやったところはですね、子ども向けのアンケートではなくて、親向けの、保護者に対するアンケートで意見集約したという。その過程で、家庭の中で子どもと話し合ったっていうようなことは、十分考えられるということで。あとはしつこくなりますけど、アンケートじゃなくて、実際に集まって意見を交わして、単位PTAの方向性を出してきた。そういうところもありますので、そういうものを含めて、皆さん方がどのような結論を出すかということにかかっていますんで、委員さんの問いに対してこの答えで、それでよろしいですか。申し訳ありません。

議長 よろしいでしょうか。いろいろと貴重な御意見有難うございました。他に何かございますでしょうか。

《しばらくの間》

議長 無い様でしたら、本日の議事を終了したと思います。よろしいでしょうか。
はい、御苦労さまでございました。それでは、議事を終了いたします。
傍聴人の方は退席をお願いします。

《傍聴人退場》

議長　それでは、以上で本日の議事が終了しました。事務局の方に進行をお返しをいたします。よろしくお願いいたします。

6 その他

進行　議事の進行有難うございました。

それでは次第の6、その他ですが、事務局から2点お知らせがございます。

事務局　それでは次第の6、その他ですが、2点お知らせがございます。

1点目「報償費の支払いについて」ですが、令和5年度の検討委員会は今回の会議で終了となるため、下半期分を取りまとめた後、口座振込とさせていただきます。

2点目「令和6年度学校再編検討委員への引き継ぎについて」ですが、先程、委員長や教育長からも説明がありましたが、4月になり、年度が替わりますと、皆様の中には交代される方がいらっしゃると思います。新しく就任される委員さんには、事務局より今までの資料を配布させていただきますので、皆様にお配りしてまずお手元の資料は、そのまま御使用いただければと思います。

以上です。

進行　事務局からは以上となりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

《しばらくの間》

7 閉会

進行　よろしいですか。無いようでしたら閉会をさせていただきたいと思います。

以上をもちまして、富山地区学校再編検討委員会第2回会議を閉会いたします。御協力有難うございました。